

(5) 基本構想等改定について

目 的

平成26年度に策定され、令和3年度に改訂された**秩父地域水道事業広域化基本構想、基本計画**について、広域化後10年となる令和8年度以降の事業の見直しと、水道事業あるべき姿を検討する

また、算出した計画額を基に、必要な料金水準を算出する

概要

これまで

平成28年～令和7年
秩父地域の水道事業の広域化



50年先を見据えた施設の再
構築を進めてきた

※施設設備の統廃合
横瀬町姿見山浄水場の統合
小鹿野浄水場の統合
皆野浄水場の統合



国の交付金

これから

令和8年以降



維持管理へとシフトした計画
の策定を目指している



マッピング
システム



施設台帳
システム

基本方針

基本方針

- ◆ 減少する水需要に対し、健全経営の維持と事業の効率化
- ◆ 山間地域における投資規模の見直しと新たな給水方式の検討
- ◆ 激甚化する自然災害に対してリスク管理への対応

減少する水需要に対し、健全経営の維持と 事業の効率化

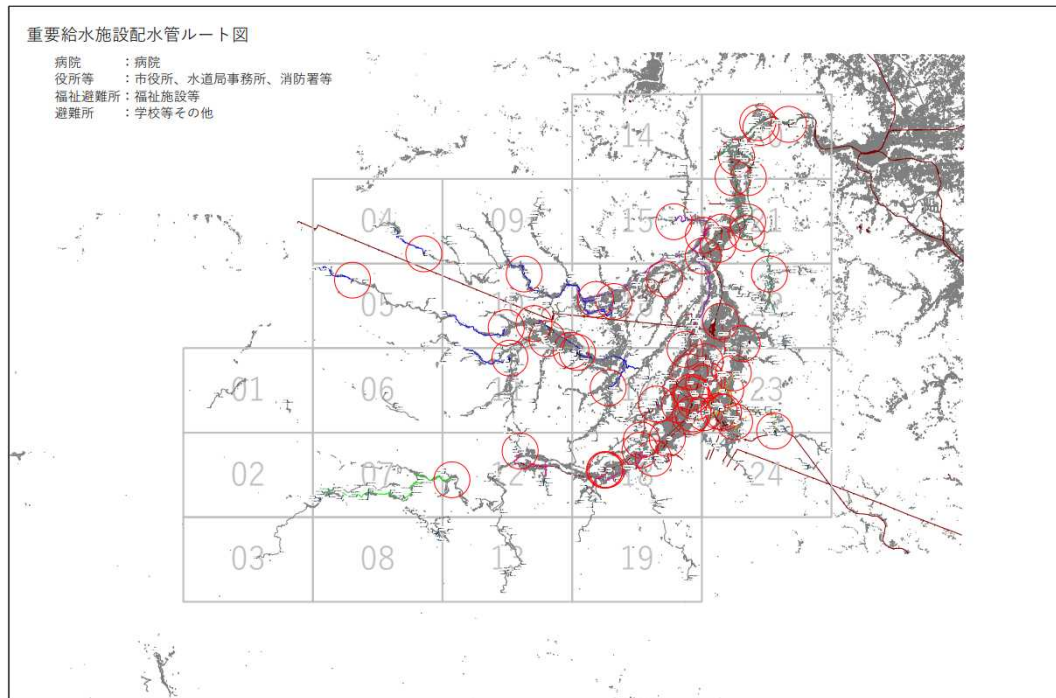
- 令和5 7 年度（2075年）までの5 0 年間の水需要予測
- 管路についてはマッピングシステムより圏域内の全管路の管種、埋設年度等のデータを元に、重点的に更新すべき管種を抽出し投資額の検討
- 施設台帳システムより、データ抽出を行い、施設、設備ごとの優先順位をヒアリングし投資額の検討

山間地域における投資規模の見直しと 新たな給水方式の検討

- 収益性の低い山間地においては新たな投資は控えることとし、最低限の維持管理を行なう
- これまでの整備計画の見直し、運搬送水などの新たな給水方式の検討を行う

激甚化する自然災害に対してリスク管理への対応

- 各地域に避難所及び医療施設等の重要給水施設を定め、災害時においても給水可能な管路の強化を図る



検討内容（参考）

□ 給水人口及び水需要予測

